

報告書

- 1) Yukio Matsumoto, Kiyoshi Uehara, Masahiro Utiyama, Shinsuke Suga, Isao Kanda, Kenji Tamura, Seiji Hayashi, Shinji Wakamatsu, Akira Obuchi, Akihiko Ohi, Hiroaki Kondo, Ikuo Saito, Akimitsu Matsumura, Mariko Ono-Ogasawara, Toshihiko Myojo (2005) Approaches to Reducing the Local High Concentration mainly due to Diesel Vehicles along Heavily-Trafficked Urban Road Ways, Environmental Research in Japan 2003, edited by Ministry of the Environment, p153-155.
- 2) Mitsutoshi Takaya, Norihiko Kohyama, Fumio Serita, Yasushi Shinohara, Mariko Ono-Ogasawara, Noriko Otaki, Tadao Toya, Ayako Takata (2005) Analysis and biological effects of airborne rare-earth particles from functional materials. ENVIRONMENTAL RESEARCH in JAPAN 2003, ed by Ministry of Environment.
- 3) 原谷隆史, 高橋正也, 中田光紀, 大塚泰正 (2005) 職業性ストレス調査票を用いた職場のストレス評価に関する研究報告書, NTT 東日本首都圏健康管理センタ受託研究.
- 4) 原谷隆史, 大塚泰正, 高橋正也 (2005) 労働者のメンタルヘルスの関連要因と対策に関する文献調査. 労働者のメンタルヘルス対策における地域保健・医療との連携のあり方に関する研究 平成 16 年度総括・分担研究報告書, p68-85, 厚生労働省科学研究補助金 労働安全衛生総合研究事業.
- 5) 平田 衛 (2005) 産業保健サービスの機能 (提供方法) に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業「今後の産業保健のあり方に関する研究」平成 16 年度総括報告書, p27-39.
- 6) 平田 衛 (2005) 産業保健サービスの機能 (提供方法) に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業「今後の産業保健のあり方に関する研究」平成 14~16 年度総合報告書, p99-113.
- 7) 平田 衛 (2005) 中小規模事業場をめぐる産業保健の法制度ならびに研究面の動向と現場の対応—法制度や研究面の進展の観点から. 厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業「中小規模事業場の健康支援に関連する政策・施策・サービスの連携に関する研究—最適支援システムの構築を目指して—」平成 16 年度総括報告書, p105-108.
- 8) 本間健資 (2005) 内分泌かく乱作用が疑われる化学物質の生殖系・次世代への影響評価に関する研究. 環境保全研究成果ダイジェスト集 平成 16 年度終了課題, p27-32, 平成 17 年 10 月 環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室.
- 9) 本間健資, 宮川宗之, 王 瑞生, 須田 恵, 小林健一, 関口総一郎 (2005) 内分泌かく乱作用が疑われる化学物質の生殖系・次世代への影響評価に関する研究(平成 13~16 年度). 平成 15 年度環境保全研究成果集, p11-1~11-43, 環境省総合環境政策局総務課環境研究技術室編.
- 10) Takeshi Honma, Muneyuki Miyagawa, Rui-Sheng Wang, Megumi Suda, Kenichi Kobayashi, Soichiro Sekiguchi (2005) A Comprehensive Study on th Effects of Endocrine Disruptor Suspects on the Hormonal and Neurobehavioral Development of the Second Generation in Rats. in Environmental research in Japan, 2003. ed by Ministry of the Environment, 21-22.
- 11) 菅野誠一郎 (2005) がん原性物質の作業環境分析法の検討(2005.4-6) フェニレンジアミン、ニトロアニソール.
- 12) 小泉信滋 (2005) 作業環境中の有害因子に対する感受性を決定する遺伝的素因に関する研究. 重点研究領域特別研究第 1 年次報告書, 独立行政法人産業医学総合研究所.

- 13) 神山宣彦, 萩原正義, 鷹屋光俊 (2005) 血液中塩素化ダイオキシン類及び臭素化ダイオキシン類の高感度分析方法の開発 (III). 臭素化ダイオキシン類に係る労働現場のリスク評価研究 平成 16 年度 総括・分担研究報告書, 主任研究者 櫻井治彦, p89-112, 厚生労働科学研究費補助金 食品・化学物質安全総合研究事業.
- 14) 神山宣彦, 萩原正義, 鷹屋光俊 (2005) 血液中塩素化ダイオキシン類及び臭素化ダイオキシン類の高感度分析方法の開発. 臭素化ダイオキシン類に係る労働現場のリスク評価研究 平成 14~16 年度 総合研究報告書, 主任研究者 櫻井治彦, p119-191, 厚生労働科学研究費補助金 食品・化学物質安全総合研究事業.
- 15) 神山宣彦, 戸谷忠雄, 高田礼子, 篠原也寸志 (2005) 蛇紋岩 (石綿) 焼成改質材料の生体影響評価試験報告書. 平成 16 年度鉱山探鉱等促進事業費補助金補助事業 事業報告書, ノザワ.
- 16) 倉林るみい, 福永佳津子 (2005) 企業における危機管理としてのメンタルヘルス対策. テロ等による勤労者の PTSD 対策と海外における精神医療連携に関する研究, p113-122, 厚生労働科学研究費補助金 労働安全衛生総合研究事業.
- 17) 倉林るみい (2005) うつ病等の休職・復職に関連した文献研究. うつ病を中心としたところの健康障害をもつ労働者の職場復帰および職場適応支援方策に関する研究, p8-12, 厚生労働科学研究 労働安全衛生総合研究事業.
- 18) 倉林るみい (2005) 大企業の産業保健スタッフを対象としたヒアリング調査. うつ病を中心としたところの健康障害をもつ労働者の職場復帰および職場適応支援方策に関する研究, p44-53, 厚生労働科学研究 労働安全衛生総合研究事業.
- 19) 松本幸雄, 上原 清, 神田 勲, 内山政弘, 田村憲治, 林 誠司, 須賀伸介, 若松伸司, 小淵 存, 大井明彦, 近藤裕昭, 斎藤郁夫, 松村明光, 小野真理子, 明星敏彦 (2005) ディーゼル車排出ガスを主因とした局地汚染の改善に関する研究. 平成 15 年度環境保全成果集 (III), p67-1-67-27, 環境省総合環境政策局総務課環境技術室編.
- 20) 宮川宗之, 小林健一 (2005) マウスのオペラント条件づけを用いた内分泌かく乱化学物質の神経系高次機能影響の評価. 平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金 化学物質リスク研究事業 研究課題名: 内分泌かく乱性確定試験法及び内分泌かく乱性試験評価包括ガイドラインの開発に関する総合研究 (小野班) 報告書. 平成 17 年 3 月.
- 21) 森永謙二 (2005) 悪性胸膜中皮腫の診断精度の向上及び治療法に関する研究. 厚生労働省がん研究助成金による研究報告集 平成 16 年度, p340-4, 国立がんセンター.
- 22) 森永謙二 (2005) 歯科技工作業による健康負担, 職域の健康障害における作業因子の寄与と予防に関する研究 平成 15 年度総括・分担研究報告書 (相澤好治), p85-93, 北里大学医学部.
- 23) 明星敏彦, 小野真理子 (2005) たばこ煙粒子の粒径別有機物迅速分析法の開発. 平成 16 年度喫煙科学研究財団研究年報, p774-779, 喫煙科学研究財団.
- 24) 明星敏彦, 他 (2005) 平成 16 年度 呼吸用保護具の性能の確保のための買い取り試験の実施報告書, 産業安全技術協会.
- 25) 明星敏彦, 他 (2005) 平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金 (がん予防等健康科学総合研究事業) 建築物における環境衛生管理に関する研究, (財) ビル管理教育センター.
- 26) 明星敏彦, 他 (2005) 平成 16 年度 作業環境状況等に対応した作業環境管理方策の調査検討 報告書, 中央労働災害防止協会.

- 27) 明星敏彦, 他 (2005) バイオハザード対策専用防護服の性能と用途基準の策定に関する研究 平成 15 年度報告書.
- 28) 明星敏彦, 他 (2005) 坑内における粉じん濃度の測定結果の評価等に係る検討会 報告書, 経済産業省原子力安全・保安院.
- 29) 明星敏彦, 他 (2005) バイオハザード対策専用防護服の性能と用途基準の策定に関する研究 平成 16 年度報告書.
- 30) 中島朱美, 原谷隆史 (2005) 医療・福祉専門職の労働上のストレスに関する研究_ストレス状況と対処に関する職域間・職種間の比較研究_. 木沢記念病院年報 第 13 号, p256-268.
- 31) 岡村 愛, 大谷勝己, 上山 純, 上島通浩, 柴田英治, 市原 学, 高木健次 (2005) 有機リン系殺虫剤ジクロロボスの男性生殖器毒性の実験的検討, 化学物質によるヒト生殖・次世代影響の解明と内分泌かく乱作用検出のための新たなバイオマーカーの開発 (平成 14~16 年度) 総合研究報告書, p92-97, 厚生労働省科学研究費補助金化学物質リスク研究事業.
- 32) 小川康恭, 大場謙一, 吉田吏江, 松本由紀, 毛利一平, 北村文彦, 齊藤宏之 (2005) 清掃工場労働者における臭素化ジフェニルエーテルの曝露状況. 厚生労働科学研究費補助金 化学物質リスク研究事業 臭素化ダイオキシン類に係る労働現場のリスク評価研究 平成 16 年度 総括・分担研究報告書, p113-127.
- 33) 小川康恭, 大場謙一, 吉田吏江, 松本由紀, 毛利一平, 北村文彦, 齊藤宏之, 平田 衛 (2005) 清掃工場労働者における臭素化ジフェニルエーテルの曝露状況. 厚生労働科学研究費補助金 化学物質リスク研究事業 臭素化ダイオキシン類に係る労働現場のリスク評価研究 平成 14~16 年度 総合研究報告書, p87-118.
- 34) 大井玄, 相沢好治, 荒記俊一ほか (2005) 平成 15 年度本態性多種化学物質過敏状態の調査研究報告書, 財団法人日本公衆衛生協会
- 35) 三枝順三, 久保田久代 (2005) ナノテクノロジーによる機能的・構造的生態代替デバイスの開発. _ナノ生化学系による機能的・構造的生態代替デバイスの開発研究. リポソーム微細構造観察法の開発. 厚生労働省科学研究補助金 (萌芽的先端医療技術推進研究事業) 平成 16 年度 総括・分担研究報告書, p183-188, 厚生労働省.
- 36) 齊藤 進, 外山みどり, 城内 博, 丸本達也 (2005) IT 社会のエルゴノミクス課題. IT 眼症と環境因子研究班業績集, p78-82, 日本眼科医会.
- 37) 澤田晋一 (2005) 厚生労働省委託 熱中症の発生防止に係る調査研究報告書, p1-60, 平成 17 年 3 月, 中央労働災害防止協会.
- 38) 澤田晋一 (2005) 夏季屋外歩行時における暑熱負担の挙動と空気循環型防暑服着用による軽減効果. (株)セフト研究所委託「空気循環式防暑作業服の冷却特性と安全性の研究」報告書, p1-9, 平成 17 年 1 月, 産業医学総合研究所.
- 39) 島 悟, 倉林るみい, 毛利一平 (2005) 休業者の実態調査および事業場の意識調査. うつ病を中心としたこころの健康障害をもつ労働者の職場復帰および職場適応支援方策に関する研究, p19-43, 厚生労働科学研究 労働安全衛生総合研究事業.
- 40) 外山みどり, 齊藤 進, 城内 博 (2005) VDT 作業によるストレスと瞳孔反射に関する文献レビューおよび瞳孔反射のストレスモニタリングとしての可能性に関する考察, p1-66, 日本大学.
- 41) 鷹屋光俊, 神山宣彦, 芹田富美雄, 篠原也寸志, 小野真理子, 小滝規子, 戸谷忠雄, 高田礼子 (2005) 「機能性材料由来の金属微粒子の分析法と生体影響の研究」. 環境保全研究成果集 () (平成 15 年度), 環境省総合環境政策局 (平成 17 年 3 月), 10-1-10-46.

